

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	2 月	19 日	記入者	春日由広
調査者名	小倉	仲谷	西田	安川	

文化財名	西宮(にしのみや)古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1956年(昭和31)8月7日				
所在地	生駒郡平群町西宮543				
所有者 管理者	国(財務省)				
員数	1基				
時代区分	7世紀中頃				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り。				
公開	見学は自由。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	特に無し。平群中央公園内にあり、きれいに整備されている。				
今後の課題	特に無し。				
その他 (由緒など)	平群谷の廿日山(はつかやま)丘陵の南側に築造された古墳である。方墳で1辺約35m、高さ7.5mで2段のテラスを設けて3段に築成されている。羨道部は築かれた当時から露出しており、これまで数次の調査が実施されている。奥壁・側壁・天井石はいずれも一枚岩が使用されている。石材は地元の平群町で産出する花崗岩である。竜山石(たつやまいし)製の刳抜式家形石棺が据えられ、棺身のみが現存している。				
コメント	近鉄平群駅から徒歩15分の平群中央公園内にあり、容易に行ける。古墳の状態は良いが副葬品は失われていて、須恵器坏蓋や高杯が出土している。奈良県内では岩屋山古墳、文殊院西古墳と並び称される切石古墳のビッグ3で、平群谷では代表的な終末期古墳として注目されている。今後も、古墳ファンのみならず家族連れの人々の多くが訪れる良好な保存状態を維持して欲しい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	2 月	19 日	記入者	春日由広
調査者名	小倉	仲谷	西田	安川	

文化財名	西宮(にしのみや)古墳
------	-------------

案内板	案内板
-----	-----



説明板	墳丘(段差が確認できる)
-----	--------------



石室開口部	玄室内の石棺
-------	--------

